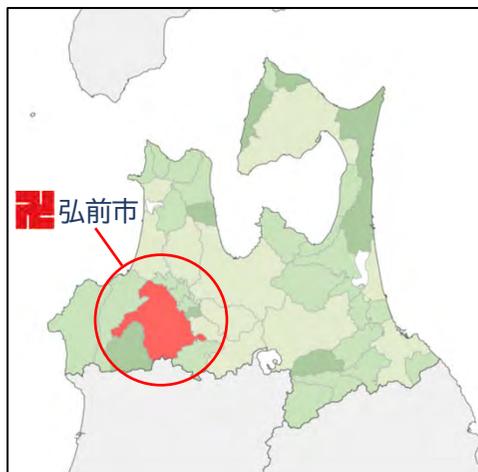


資料 6

援農・副業による りんご産業の活性化

弘前市とは



- ▶ 人口約16万人の県内3番目の都市
- ▶ 明治22年4月、全国30市とともに市制を施行
- ▶ 弘前城、神社仏閣、洋風建築物、前川國男の建物など歴史的建造物にあふれる文化都市
- ▶ 県内唯一の国立大学法人弘前大学などがある学園都市
- ▶ 四大まつりを中心とした観光都市



さくらまつり



ねぷたまつり



菊と紅葉まつり



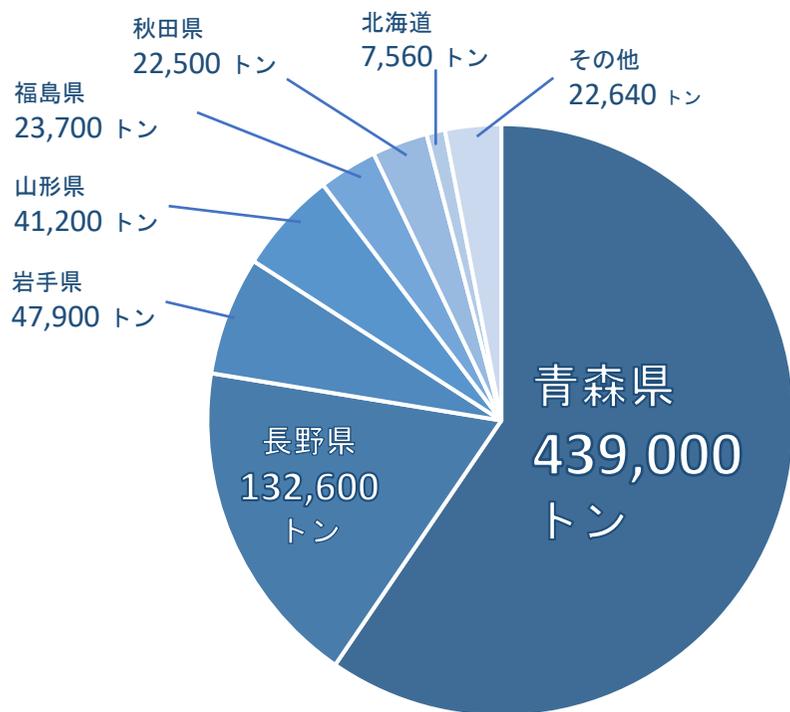
雪燈籠まつり

弘前市のりんご

生産量

令和4年産都道府県別

りんご生産量:737,100トン



**約60%が
青森県産!**

**うち弘前市は
約18万トン!**

【果実部門】農業産出額上位3市

(単位:億円)

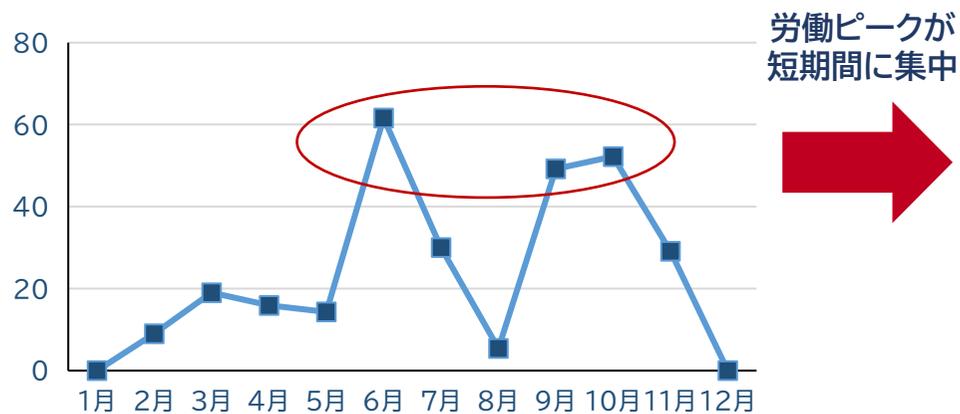
順位	市町村	農業産出額	主要果実
1(1)	弘前市(青森県)	449	りんご
2(2)	笛吹市(山梨県)	271	もも、ぶどう
3(3)	甲州市(山梨県)	185	ぶどう、もも

(注)順位の()内の数値は前年順位
資料:農林水産省「令和4年市町村別農業産出額(推計)」

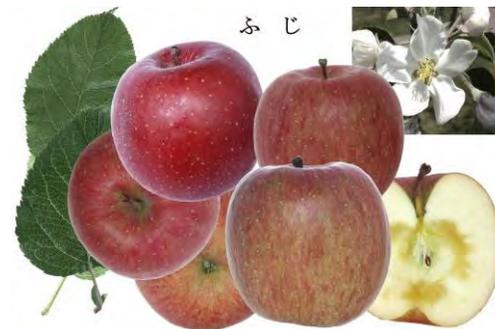


りんご産業の課題

りんご(品種:ふじ)の月別労働時間



- 農閑期はりんご農業者の家族で労働力を確保
- 農繁期は知人等をアルバイト雇用しているが、人手の確保に苦慮



令和5年度 援農ボランティアツアー

■ 行程

08:00 弘前駅集合



09:00 収穫作業



12:00 昼食



13:00 収穫作業



15:30 解散

■ 特徴

ハイヤー手配

行程の移動は全てハイヤー対応

備品・ノベルティの用意

雨合羽・長靴・手袋・タオル・シールドル etc

宿泊補助

1泊/3,000円(お1人様2泊まで適用)



令和5年度 援農ボランティアツアー(実績)

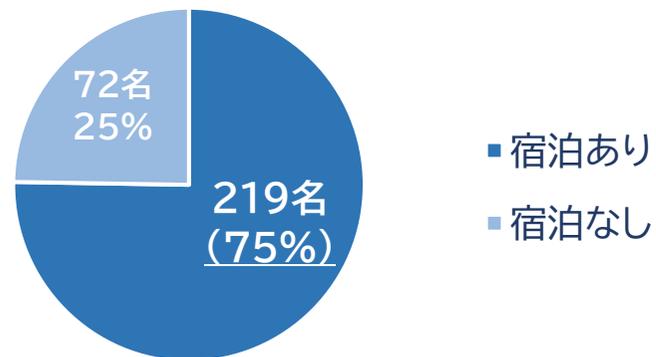
■実績

開催時期	10月～11月のうち5日間 (10/15、10/22、10/29、11/4、11/12)
主な作業	りんご収穫
作業時間	9:00～15:30
受入農家	29名
参加者	282名

■参加者(居住地別)



■参加者(宿泊者数)



令和5年度 援農ボランティアツアー(関係者の声)



■ 受入農家からの声

- ・ りんごの農作業は老若男女問わず、誰でも従事できる素晴らしい仕事だと改めて感じている。
- ・ 従事した多くの方から楽しかったと感想をもらい、とてもありがたいと感じた。
- ・ 他県、他産業の人と関わることでいい刺激になった。
- ・ 弘前りんごをPRできる良い事業だと思う。
- ・ 援農ボランティアを継続してほしい。

■ 参加者からの声

- ・ 農園の皆さんが親切で楽しく作業できた。
- ・ ご縁を大事にしたい。
- ・ ツアーをきっかけに初めて弘前を訪れ、観光も楽しめた。
- ・ また参加したい、事業を継続してほしい。
- ・ この作業を毎日やるのは大変だと思った。

ひろさき援農プロジェクト以外のボランティア

日本航空(株)

・コロナ禍にJALパイロットが「地域を元気づけたい」という思いから取組みが始まり今年度も継続中。

陸上自衛隊 弘前駐屯地

・駐屯地開庁の翌年である1969年から援農ボランティアを実施しており、幹部職員もりんご作業に従事。

ブランデュー弘前FC

・弘前市を拠点に活動するサッカークラブが、選手の「働き口」や現役引退後の「セカンドキャリア」になり得るとして、ボランティアを実施。

日本原燃(株)

・令和元年から新入社員による援農ボランティアを弘前市を含む多市町村で実施し、6年間で500名以上が従事。

東日本旅客鉄道(株)

・令和5年に1日農業バイトアプリ「daywork」を活用し、りんご農作業の援農を実施。
・令和6年にはNTT東日本も参画。

etc...

りんご生産アルバイトの兼業の推進

■弘前市職員による兼業アルバイト

令和3年10月より市職員が兼業による「りんご生産アルバイト」を開始。

■兼業解禁の条件

対象者	全職員 (利害関係がある場合を除く)	→	例: 農林部職員は兼業不可
兼業先	市内のりんご農家又は農業法人		
許可要件	職務遂行上問題ないと認められる場合	→	【主なもの】 従事先での勤務時間が以下をすべて満たす場合
許可期間	1年以内(許可後1年毎に更新)		

※ 国家公務員における兼業に係る規定に準じて運用。

①勤務日*3時間以下 *本業で勤務した(する)日の兼業先での勤務時間

②週8時間以下

③1ヶ月30時間以下

兼業の実績と声

■実績(令和3年～5年)

兼業 従事者数	職員43名
派遣 農家数	33件 (各農家に職員1～4名を派遣)
作業内容	葉取り、つる回し、袋剥ぎ、反射シート敷き・撤去、収穫、運搬、選果



■受入農家の声

- ・市職員は自ら考え行動できるので、アルバイトを**安心して受け入れることができ**、助かっている。
- ・農家と市職員が一緒にりんごで**地域を盛り上げよう**という**一体感**が感じられ、**りんごアルバイトの取組**を行っていること自体が農家として**嬉しい**。

■兼業従事者の声

- ・農家が土日関係なしに朝から晩まで働いているのを目の当たりにして、簡単に疲れたと言えないと思うようになり、**精神面で我慢強くなった**と感じる。
- ・アルバイト先の農家からとても感謝され、**人のため、地域のため**になっていることを実感する。

援農ボランティア

継続性

交通
アクセス

計画性

兼業制度

制度波及

本業への
影響

就業規則の
改正

こうなるのが理想

■ ボランティアから副業への移行例

① 企業の新採用職員による援農ボランティア



- ・ メディアインパクト重視
= 官公庁がサポート

企業参画の
モチベーション

- ・ 複数の農業者に分散して従事
= 自治体・JAがサポート

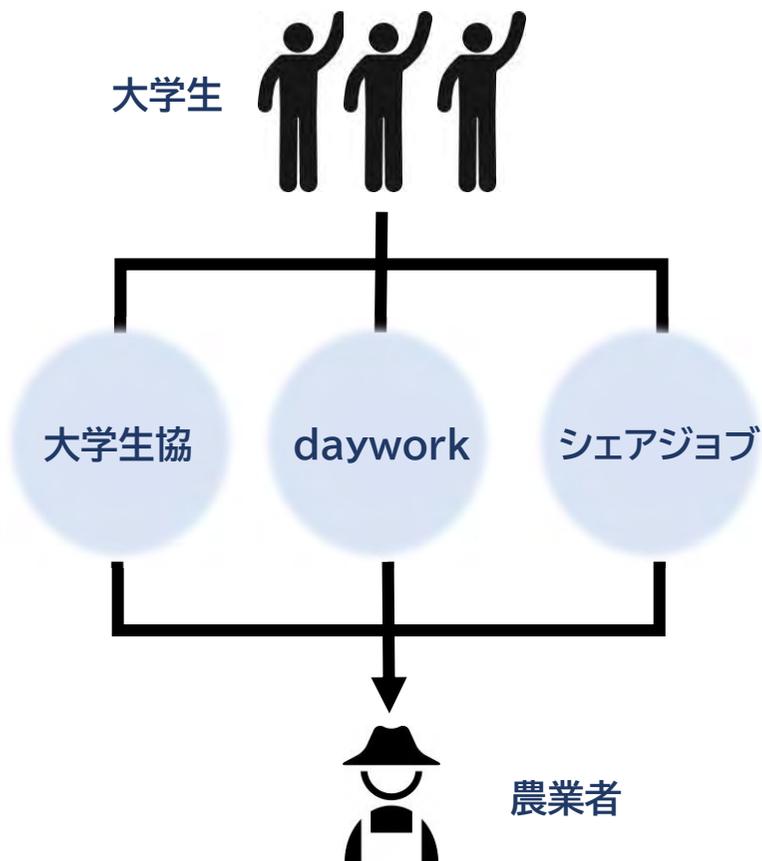
地域と企業の
繋がりを構築

② 2年目以降、副業解禁

- ・ 生産者支援を重視
= ボランティア経験者が従事
- ・ ボランティア従事先を副業従事先へ

期待される働き手

マッチング例



(車を所有している)
社会人であれば
移動可能なエリア



画像 ©2025 TerraMetrics、地図データ ©2025 5 km

援農

- ・企業研修
- ・一般向けツアー etc

=関係人口の創出、社会貢献

副業

- ・バイトマッチングアプリ etc

=人手不足の解消